

## 大雪山の火山活動解説資料（平成27年2月）

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①、図2～5）

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。  
4日に実施した上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、火口の状況に特段の変化はみられませんでした。

## ・ 地震及び微動の発生状況（図1-②）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

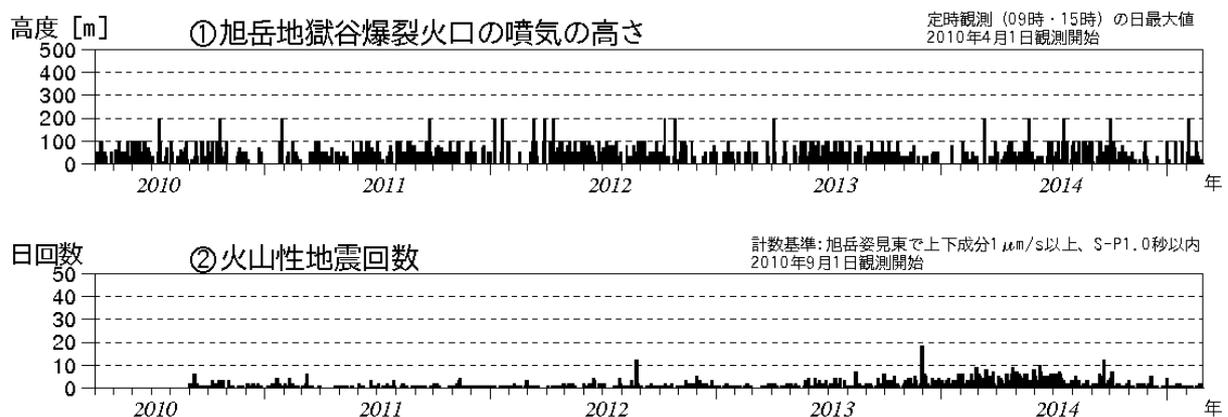


図1 大雪山 火山活動経過図（2010年4月～2015年2月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。また、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平26情復、第658号）。

次回の火山活動解説資料（平成27年3月分）は平成27年4月8日に発表する予定です。

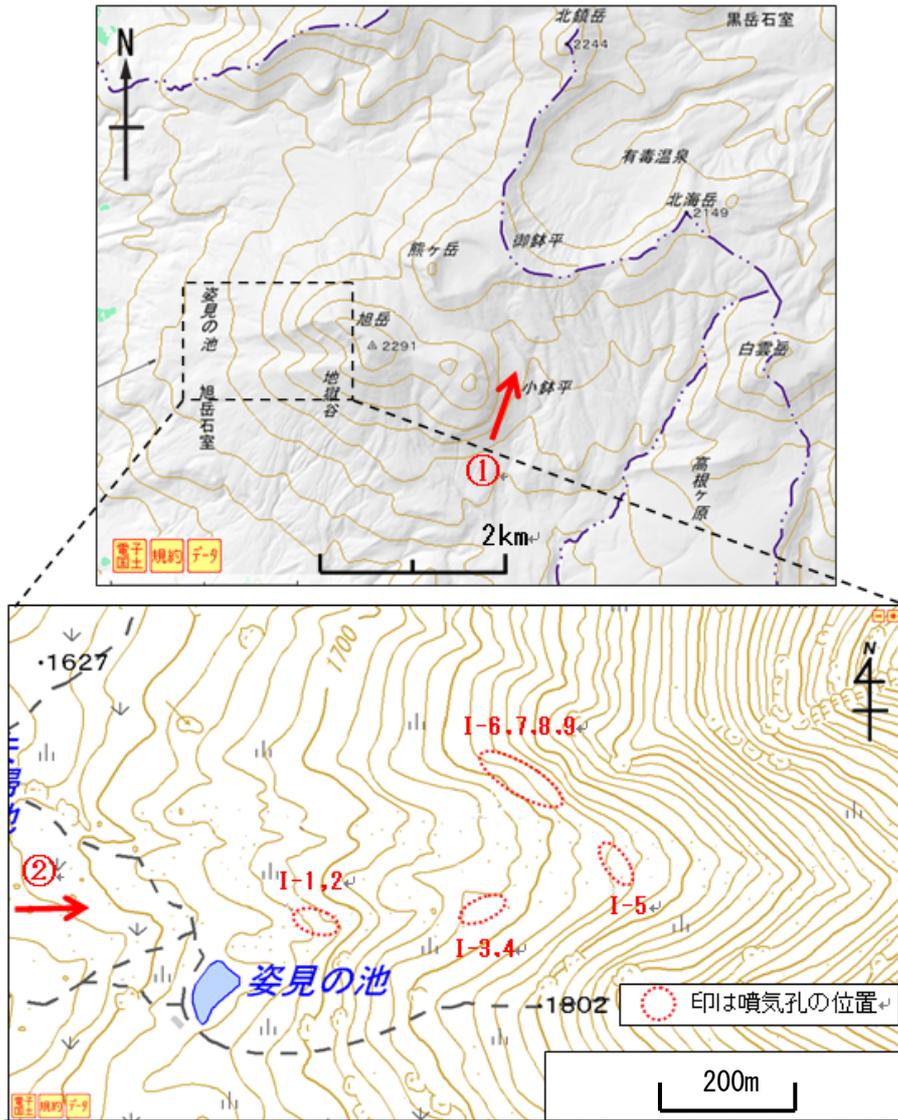


図2 大雪山 火口周辺図 (矢印は写真の撮影方向)

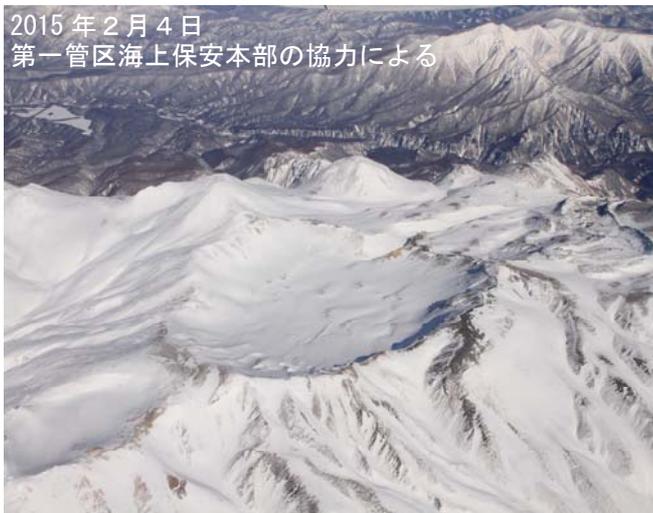


図3 大雪山 御鉢平の状況  
南西側上空 (図2-①) から撮影



図4 大雪山 旭岳地獄谷爆裂火口の状況  
西側上空 (図2-②) から撮影



図5 大雪山 西側から見た旭岳の状況 (2月6日、忠別湖東遠望カメラによる)

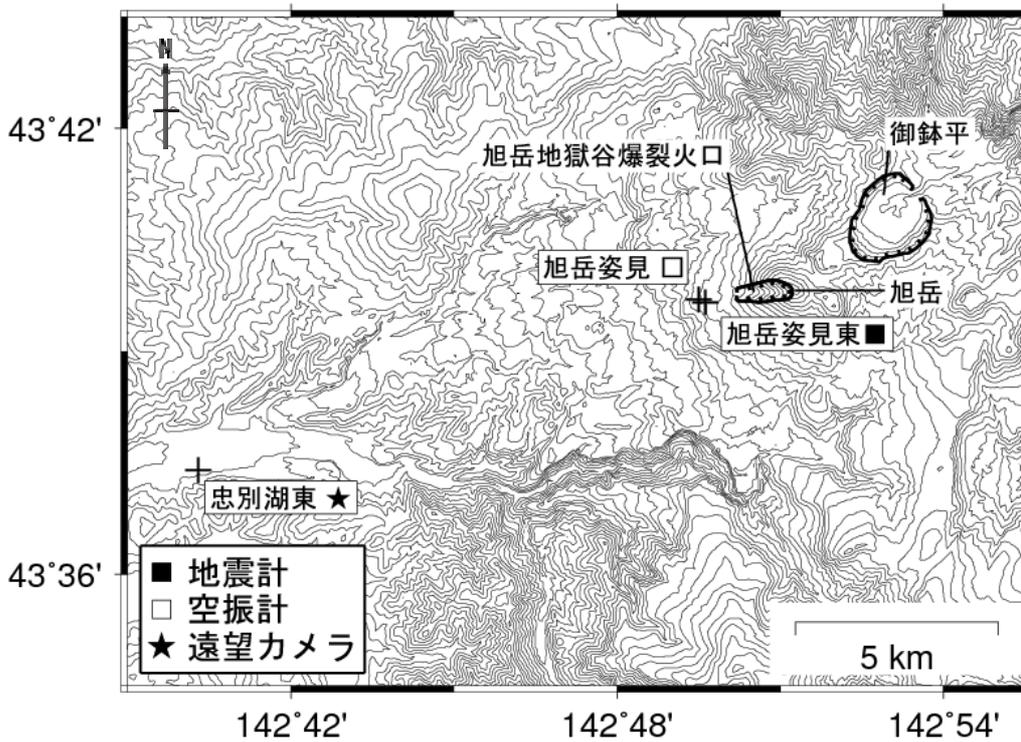


図6 大雪山 観測点配置図  
+印は観測点の位置を示します